

# 令和5年度「地域学校協働本部事業」 喜多方市の取組事例

## 「地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるまちづくり」(福島県喜多方市)

### 取組の概要や経緯

令和3年度から、地域と学校をつなぐ「コーディネーター」を配置し、地域住民や団体等と学校が協働し、様々な活動に取り組む「地域学校協働活動事業」の推進に取り組んでいます。

令和4年度からは、小規模校である会北中学校、高郷中学校に、ダンスや声楽の「学習支援員」や「部活動指導員」を派遣し、生徒に様々な学びの機会を提供するとともに、部活動の充実を図っています。また、松山小学校では、民俗芸能「中村彼岸獅子」の歴史や獅子舞の学習を通じて、地域の民族芸能の継承に励んでいます。

今年度については、部活動の休日の地域移行の推進のため、地域のスポーツクラブ等から部活動指導員を各中学校に派遣しています。



### 内容

- 会北中学校 … 保健体育の授業に「ダンス」の学習支援員を派遣
- 高郷中学校 … 音楽の授業に「声楽」と「箏」の学習支援員を派遣
- 第二小学校 … 合奏部の活動に「部活動指導員」を派遣
- 松山小学校 … 総合的な学習の時間に、「中村彼岸獅子保存会」による民俗芸能の学習
- 第一中学校 … 陸上部の部活動の地域移行に向けた取組を実践
- 第三中学校 … サッカー部と卓球部に「部活動支援員」を派遣



### ポイント

小中学校の部活動(課外活動)の支援と、小規模校へ様々な分野の学習支援を重点に取り組んでいます。



### 成果

- ・小規模中学校への「学習支援員」や「部活動指導員」の派遣を通じて、生徒に様々な学びの機会を提供し、生徒の向上心や探究心が向上できた。
- ・地域の民俗芸能の学習や、指導者の皆さんとの交流を通じて、子どもたちの郷土愛を醸成することができた。

### 今後の方向性

児童生徒の減少と地域の指導者等の高齢化などにより、「地域学校協働活動」の充実には難しい状況にはあるものの、児童生徒の学びをより充実させるため、「地域コーディネーター」を新たに配置し、地域学校協働活動事業体制の強化を図る。